

つながろう

OKITAMA

機関紙



連合置賜

2021年12月3日

定期総会特別号

連合山形置賜地域協議会

発行責任者: 船山 勇幸

〒992-0042

米沢市塩井町塩野 1-1

米沢地区勤労者福祉会館内

第16回定期総会 新たな方針と 役員改選を実施し無事閉会する



『やれない理由探しよりもやれる方法を考える』

新体制一丸となり連合運動を前進させよう!!

【幹事会新体制を代表して】

連合山形置賜地域協議会

議長 船山 勇幸



今年度より議長職を仰せつかりました、自治労米沢市職員労働組合出身の船山です。

連合置賜地域協議会は、11月27日に第16回定期総会を開催し、2021年度の経過報告と2022年度の活動方針を提起し、総会代議員全体で経過の確認と方針の決定がなされました。

約2年に及ぶコロナウイルスの流行により、メーデーを始めとする交流会や学習会など各種行事が中止や縮小を余儀なくされたことは、連合置賜地協の運動全般を停滞させる結果となりました。

また、10月31日に行われた衆議院選挙においては、「加藤けんいち」氏の推薦を決定し闘ってまいりました。あと一歩及ばずの結果ではありましたが、連合置賜地協に集う仲間が一丸となって取り組んできたことに改めて感謝申し上げます。今年に入ってから、ガソリンや食料品などの物価上昇が顕著に表れ、労働者を取り巻く状況は日々厳しさを増しています。このような時だからこそ、私たちの生活や雇用を守るため「連合」という組織がより重要になってくると感じています。

定期総会で掲げたスローガン「安心社会へ新たなチャレンジすべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在』へ」を現実のものとするため、精一杯取り組んでまいります。

組合員の皆様には、これまで同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。連合置賜地域協議会幹事会を代表してご挨拶いたします。

連合山形置賜地域協議会第16回定期総会 全議案承認され新たな活動がスタート!!

去る11月27日土曜日14:00より、今期持ち回り開催担当地区となる南陽市えくぼプラザにおいて、第16回定期総会を開催しました。

本総会は新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、昨年に引き続き委任状制を導入し、代議員数を半減したうえで開催致しました。

ご来賓も開催規模を縮小した事情から2名のみとさせていただき、代表して連合山形会長の船山整様、そして先の衆院選で支援した加藤健一氏より連帯と激励、そして御礼のご挨拶を頂戴し、舟山康江様・芳賀道也様両参議院議員からお寄せいただいたメッセージを披露致しました。

その後、2021年度の活動報告が確認され、2022年度活動方針(案)と会計予算(案)、そして2022~2023年度幹事会役員体制をご承認いただき、「安心社会へ新たなチャレンジ すべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在』へ」の総会スローガンを掲げ新たな活動がスタートしました。

新型コロナウイルス感染症の脅威と対峙しつつも、『やれない理由探しよりもやれる方法を考える』ことを基本とし、『前年度の評価と課題を活かした具体的な目標』を運動の柱とし積極的に活動して参りますので、引き続きのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



【代議員席も間隔を取って設置し開催】



【司会の佐藤(憲)前事務局次長】



【金子前副議長より開会あいさつ】



【第一部総会議長の岩瀬代議員より冒頭挨拶】



【代表し佐藤前議長からの挨拶】



【ご来賓の連合山形船山会長よりご祝辞】



【ご来賓の加藤健一氏より御礼あいさつ】



【舟山・芳賀両参議院議員メッセージ披露】



【平井資格審査・総会運営委員会委員長報告】



【佐藤事務局長からの活動報告・方針提案】



【五十嵐会計監査からの監査報告】



【出席代議員による活動方針等の承認】

山形置賜地域協議会「定期総会」



【寺澤役員選考委員会委員長からの経過報告】



【遠藤選挙管理委員会委員長からの改選提案】



【退任役員からのあいさつ】



【功労者表彰：佐藤前議長】

連合山形置賜地域協議会「定期総会」



【功労者表彰：鈴木前事務局次長】



【功労者表彰：遠藤(栄)前幹事】



【表彰を受けての御礼あいさつ】



【総会宣言提案の鈴木前事務局次長】



【第二部総会議長の菅原代議員より降壇挨拶】



【総会書記を務めた鈴木代議員】



【舩山議長による心の中でのガンバローコール】



【安部副議長より閉会挨拶】

■ 2022～2023年度幹事会役員



【前列左から】

若月由紀（事務局次長），佐藤幸治（事務局長），安部照薫（副議長），舩山勇幸（議長）
齋藤美穂（副議長），斎藤孝一（事務局次長）

【後列左から】

小松正義（幹事），山田雄二郎（会計監査），中澤邦彦（幹事），玉虫真（幹事），遠藤正浩（幹事）
星野政義（幹事），五十嵐倫一（会計監査），鈴木良子（会計監査），五十嵐弘司（幹事）
五十嵐研一（幹事）

【この他に】

奥山孝宏（副議長），八木俊輔（事務局次長），安部孝二（幹事），柏倉保史（幹事）

以上20名体制



連合・愛のカンパ 多くの善意集まる



※写真は会場出席者名簿記入の際に設けた募金活動

例年1月に各地区で開催される旗開き・新春の集いは、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により2022年1月各地区での開催が不透明な状況です。(12月1日現在)

その為、連合置賜地協幹事会としては、例年各地区で旗開き・新春の集いに併せ実施している「連合・愛のカンパ※」活動も不透明な状況を鑑み、第16回定期総会会場においてカンパ活動を実施する事と致しました。その結果、以下のとおり総会構成員の皆さまから多くの善意を頂戴しましたのでご報告申し上げますと共に、いただいた善意は全額連合山形を介し連合本部へ集約させていただきます。

尚、現時点での各地区における旗開き・新春の集い開催は未定となっておりますが、開催された暁には各会場においても引き続きカンパ活動を実施して参りますので、ご協力を宜しく申し上げます。

【2022年度連合・愛のカンパ】(第16回定期総会会場取り組み分)

■13,037円※お寄せいただいた善意は全額連合山形を介し連合本部へ集約させていただきます

※「連合・愛のカンパ」とは、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け社会貢献活動として取り組むものであり、NPO・NGO団体等の事業・プログラムへの支援および自然災害等による被災者に対する救済・支援を目的としております

【編集後記】

昨年の定期総会に引き続き委任状制を導入したうえで開催された第16回定期総会は、新たな活動方針や役員改選(案)を承認いただき無事終了する事が出来ました。

昨年より猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、全国的にもワクチン接種が進み小康状態を保っております。その為、2022年度の活動方針としても、自粛や中止が相次いだメーデーや春闘学習会など様々な取り組みに対し、3年ぶりの開催を目標に準備を進めることをご確認いただきました。

しかし、世界的に見れば感染状況の急激な悪化や新たな変異ウイルスの出現報道等を鑑みますと、今後も国内における感染状況は決して予断を許さない状態が続くのではないかと危惧しております。

私たちはコロナに負けない。停滞した経済や労働運動を前進させなくてはならない。そんな空白の2年を乗り越える覚悟が2022年度は求められると思っております。その為、連合置賜は運動の柱として、感染防止対策を最大限に講じたうえで、「やれない理由探しよりもやれる方法を考える」ことを活動の基礎と致しました。

皆さまにおかれましては、この活動の基礎に対しご理解のうえ、運動への参画をお願いできれば幸いです。(事務局)